

地区などの土地区画整理事業区域などに汚水管の整備を行いました。

経営面では、効率的な経営に努めたことなどにより、5億800万5千円の純利益を生じました。

今後におきましても、健全経営に努めるとともに、公共下水道施設の整備と水洗化の普及促進に取り組み、快適な生活環境の確保や公共用水域の水質保全に努めてまいります。

船舶事業特別会計におきましては、環境にやさしい電気推進船の建造に着手するとともに、桜島港における可動橋及び人道橋の補修工事等を実施しましたほか、鹿児島港における案内標識の設置や移動式電光表示装置の導入などを行い、利用者サービスの向上に努めました。

経営面では、厳しい経営環境の中、各面からの経営健全化策に取り組みましたが、ガソリン価格の高騰に伴う航送車両台数の減少や船舶燃料価格の高騰などにより、1億739万9千円の純損失となりました。

今後におきましても、さらなる効率的な経営、安全で快適な運航に努めるとともに、計画的・効率的な施設等の整備を進め、船舶事業の使命と役割を果たしてまいります。

以上で、平成20年度の一般会計、特別会計及び企業会計の決算についての説明を終わります。

詳細な内容につきましては、別途提出いたしました決算に関する説明書、歳入歳出決算事項別明細書等のおりでございますので、よろしくご審議のうえ、認定及び議決していただきますようお願いいたします。